紙幣鶴

斎藤茂吉

青空文庫

ある晩カフェに行くと、一隅の卓に倚ったひとりの娘が、墺太利の千円紙幣でしきりに鶴を折っている。ひとりの娘というても、僕は二度三度その娘と話したことがあった。僕の友と一しょに夕餐をしたこともあった。世の人々は、この娘の素性などをいろいろ穿鑿せぬ方が賢いとおもう。娘の前を通りしなに、僕はちょっと娘と会話をした。

「こんばんは。何している」

「こんばんは。どうです、旨いでしょう」

「なんだ千円札じゃないか。勿体ないことをするね」

「いいえ、ちっとも勿体なかないわ。ごらんなさい、墺太利のお金は、こうやってどんどん飛ぶわ」

そうして娘は口を細め、頬をふくらめて、紙幣で折った鶴をぷうと吹いた。鶴は虚空に舞い上ったが、忽ち牀上に落ちた。

娘は、微笑しながら紙幣で折った鶴を僕に示して、※fliegende oesterreichische Kronen!„ こういったのであった。この原語の方が、象徴的で、簡潔で、小癪で、よほどうまいところがある。けれども、これをそのまま日本語に直訳してしまってはやはりいけまい。

この小話は、墺太利のカアル皇帝が、西班牙領の離れ小島で崩じた時と、同じような感銘を僕に与えたとおもうから、ここに書きしるしておこう。

青空文庫情報

底本：「斎藤茂吉随筆集」岩波文庫、岩波書店
　1986（昭和61）年10月16日第1刷発行
　2003（平成15）年6月13日第7刷発行
底本の親本：「斎藤茂吉選集　第八巻～第十三巻」岩波書店
　1981（昭和56）年～1982（昭和57）年
初出：「改造」
　1925（大正14）年6月号
※底本巻末の相澤正己氏による注釈は省略しました。
入力：秋谷春恵
校正：高瀬竜一
2018年4月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

紙幣鶴

斎藤茂吉

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/